

協議事項

- 鎌倉市障害者二千人雇用センターにおける新規登録者数の増加に向けた施策について -

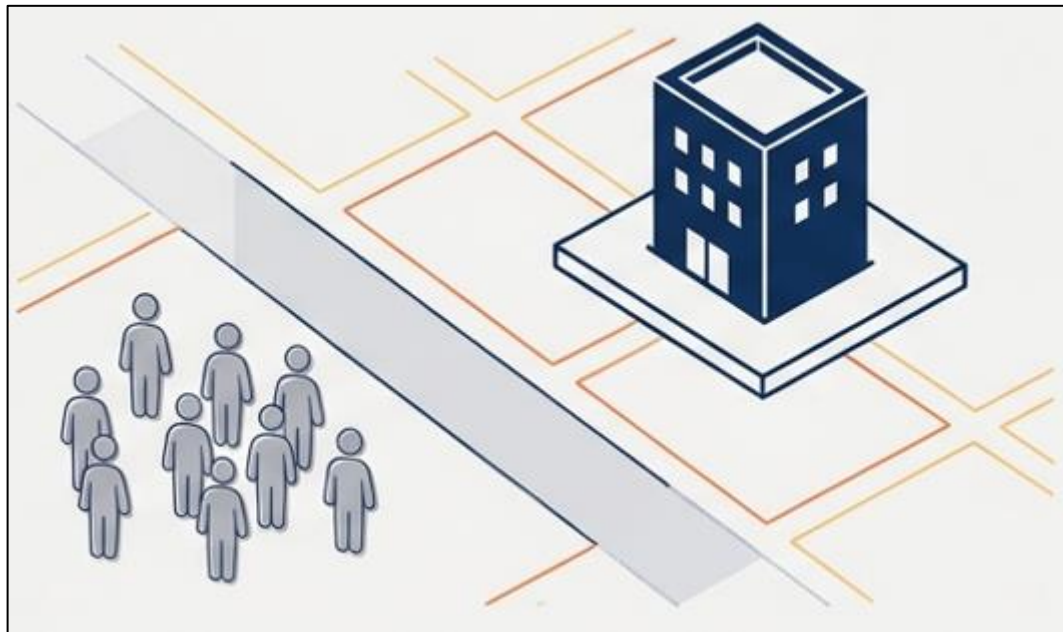
令和8年（2026年）8月7日



鎌倉市

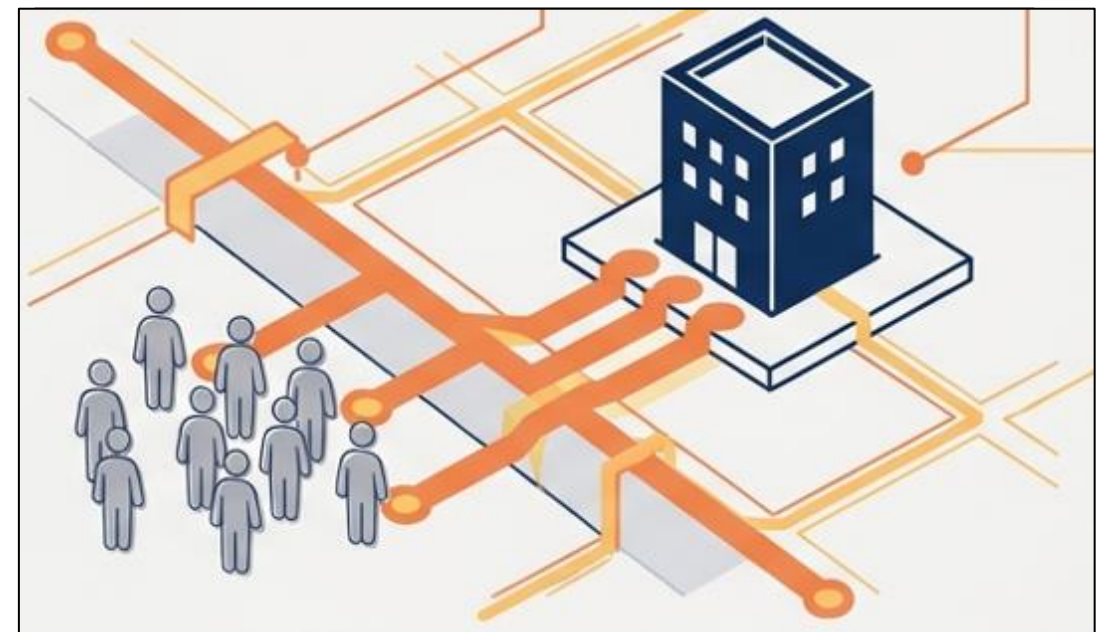
本日の協議事項の着地点

現状



- 鎌倉市二千人雇用センターは就労・生活支援の核として開設後8年が経過したが、支援を必要とする方々にセンターの存在や支援内容が届ききっていない。

本日のゴール



- 支援を必要とする方々が適切にセンターへつながるための体制構築および啓発活動についてアイデアを協議いただきたい。

協議事項の趣旨-なぜ新規登録者を増やす取組が必要か-

- 稼働年齢層 約3,500人+「ひきこもり」⇒センターに未登録の潜在的な要支援者の存在
- 8年間の累計登録者数は597人

年度別新規登録者数の推移

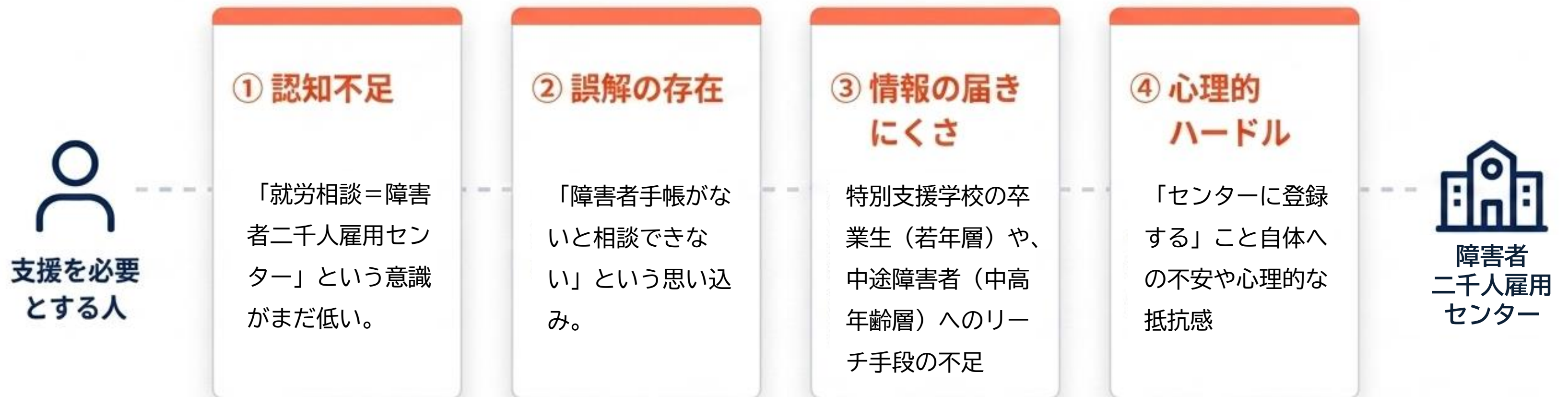


- 平成30年度の58人から増減を繰り返し、令和6年度にピークとなる「93人」を迎えています。

K P I : 年間の新規登録者数「90人」に設定

センターと支援を必要とする人にある障壁

■ 登録者数を増やすにあたり、考えられる障壁として以下のものが挙げられます。



待っているだけでは支援が必要な人に支援が届かないフェーズへ

現在対応中の本市の取り組み

■ 所管の壁を越えた他機関連携として以下の相談窓口との組織的な情報交換を深めてまいります。

窓口名

対象者

支援内容

若者サポートステーション

■ 15歳～49歳の方とその家族

■ 仕事に関する相談、グループワーク、セミナーなど。

生活困窮者自立支援相談

■ 鎌倉市在住で、経済的に困窮し生活に不安がある方

■ 一人ひとりに合わせた支援プランの作成
■ 家賃補助や転居費用の支給
■ 借金や家計の立て直し支援

鎌倉市就労準備支援相談

■ ひきこもり等の課題があり、社会参加や就労に不安がある方

■ 社会との関わりに慣れるための支援や、就労に向けたプログラムの実施

本市の主な情報発信手段

広報かまくら

- 毎月1日発行している本市の行政情報誌。各世帯へ個別配付のほか、市役所・支所などの公共施設、市内各駅のラック等でも配付

(URL: <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/shisei/kouhou/kamakura/saisin.html>)

鎌倉市ホームページ

- 本市が運営する公式のウェブサイト。

(URL: <https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/syougaijisha/koyoucenter.html>)

かまくら障害者支援アプリ

- 障害のある方やその家族、支援者、事業者向けのスマートフォン用アプリ。登録情報（障害種別や等級）に合わせて、本市からのお知らせをプッシュ通知でお届け (URL: <https://lg-pwd.jp/home?citycode=142042>)

SNS(LINE・Facebook・note)

- LINE (ID: @kamakuracity)
- Facebook (URL: <https://www.facebook.com/kamakuracity.hisyokoho>)
- note (URL: <https://kamakura-city.note.jp/>)

印刷物

- 福祉の手引き、障害福祉課チラシ、二千五雇用センターチラシ等

本日の協議のポイント



情報発信の強化

「就労に向けた相談先」として、真っ先に二千人雇用センターが想起されるような情報発信とは？



他機関連携

学校、ハローワーク、福祉施設、その他支援機関とのより実効性のある連携の在り方とは？



登録へのハードル払拭

要支援者が「まずは相談してみよう」と思えるような安心感のある体制づくりとは？

新規登録者数「90人」達成し、障害者就労者数を底上げできるアクションプランを！

検討中のアクションプランの具体例

視察訪問者へSNS発信依頼

- 本市の障害者雇用施策についての視察訪問者へ、視察後SNS等で「本市の障害者雇用施策」について発信するよう依頼する。

ホームページの充実化

- 各事業について理解を深めてもらうため「利用者の声」を掲載する。
- 施設や作業風景の写真を掲載し視覚的な訴求力を高める。

さらなる他機関連携

- 前述の若者サポートステーション等以外の機関とも情報交換を行い、要支援者への支援の輪を広げる。

委員の皆様の忌憚のないアイデアとご意見をお願いいたします。